

度数分布表作成のための値

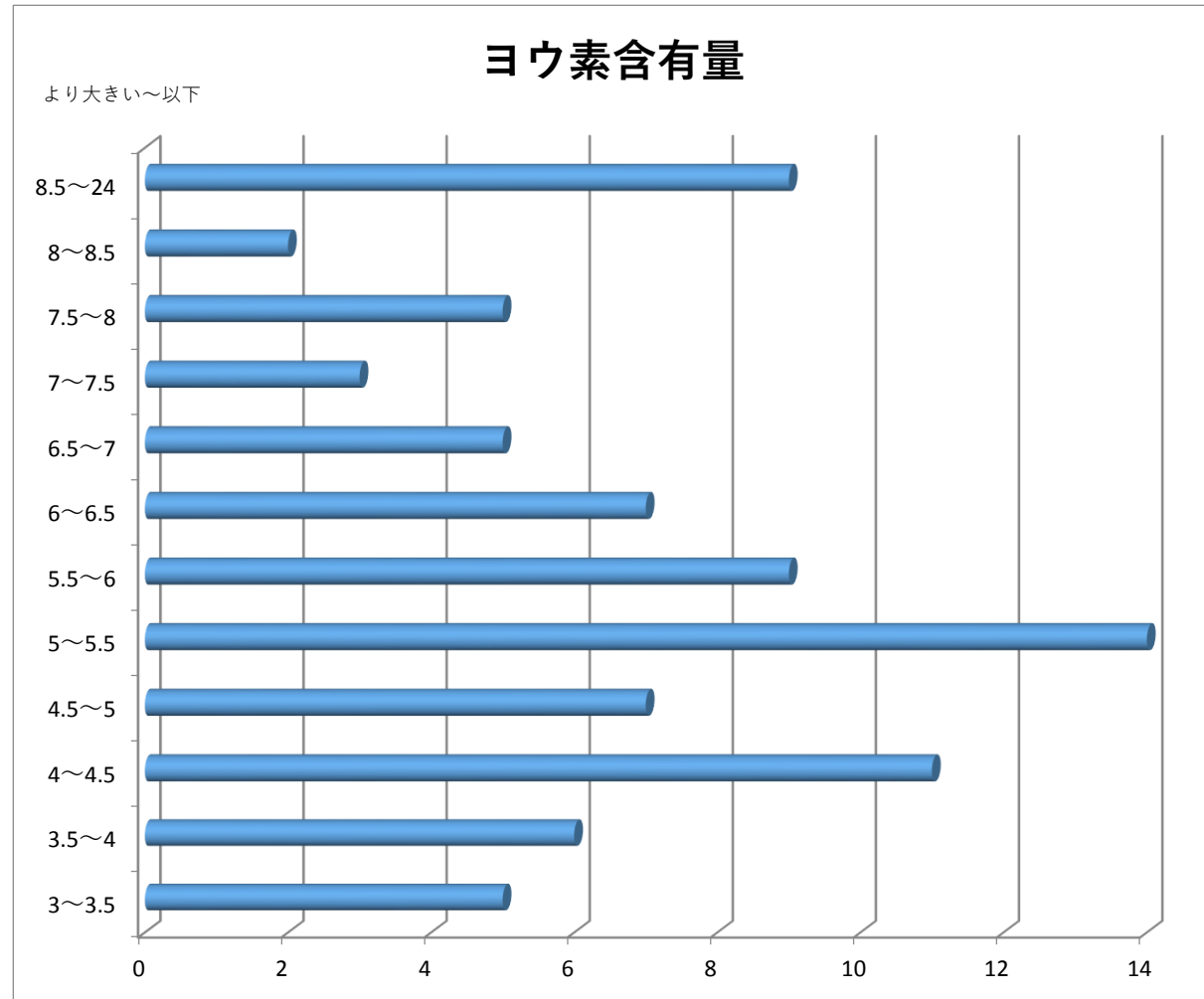
件数	87		階級の数	12	3.10	最小値
最小値	3.00		最大値	24.00	23.58	最大値
範囲	21.00		階級の幅	0.5		

度数分布表(エクセルで数式を使用して作成)

より大	以下	数値	ヨウ素含有量
3.00	3.5	3~3.5	5
3.50	4.0	3.5~4	6
4.00	4.5	4~4.5	11
4.50	5.0	4.5~5	7
5.00	5.5	5~5.5	14
5.50	6.0	5.5~6	9
6.00	6.5	6~6.5	7
6.50	7.0	6.5~7	5
7.00	7.5	7~7.5	3
7.50	8.0	7.5~8	5
8.00	8.5	8~8.5	2
8.50	24.0	8.5~24	9
			83

平均値 6.2070302

標準偏差 3.0369425



調査目的

妊婦対象のヨード補給プロジェクトを続けてきた中で、ここ数年、ヨード欠乏率の低下に伴い、ヨードが基準を超過している妊婦がプロジェクト対象の50%以上が該当していることが、検査結果から判明した。過剰なヨードによりバセドー氏病などが危惧され、塩分摂りすぎは高血圧などの副作用が危惧される。欠乏の問題と合わせて新たな問題と判断した。

調査結果

実施場所 Rama Devi Secondary School Sangachowk, Sindhupalchowk Nepal

採集日 2018. 10月

濃度測定 フジッコ（株）開発研究室 2017年12月～2018年1月

データ分析

- ① 平均6.2であり、ネパール政府基準値5.0 を遥かに超えており、23.6 が最大値となっている。品質に誤差（標準偏差）が多きすぎる。
- ②この誤差の大きいことは、ヨード添加の工場の生産工程に問題があることが伺える
- ③プロジェクトの診察で血圧を測るが、高血圧の妊婦が居ない事実を勘案すると、ヨード添加塩の摂取過ぎの可能性は低いが、ヨード添加塩の使用量実態調査が必要になってくる。もし、政府基準根拠の食塩摂取5g/1日 と使用実態と勘案し、場合によっては、添加濃度を〇〇まで基準を下げるか、または5.0の基準を守るよう、工場の品質管理の徹底を 政府に提言する必要がある。徹底をネパール政府に徹底する。
- ④現在、提携先のPHIDReCが食塩使用実態調査を計画しているので注視したい。（熱田2018.3.28）